



|            |   |
|------------|---|
| Title      | 米国管理下の南西諸島状況雑件 要人往来（沖縄要人来日、訪米）（松岡主席訪米（中止）40.5.14   外務省外交史料館レファレンス番号：H220435）                    |
| Author(s)  | -   |
| Citation   | 平成22年度外交記録公開(2)No.1   公開日：平成22年11月26日   外務省外交史料館管理番号：A'.3.0.0.7-1(16)   CD・DVD番号：H22-004        |
| Issue Date |   |
| URL        | <a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43314">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43314</a> |
| Rights     | 外務省外交史料館所蔵資料  |

松岡主席訪米(中止)

40.6.14

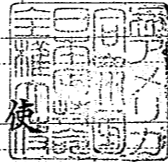
北米局長  
参事官  
北米課長

第2963号

昭和40年5月19日

外務大臣殿

在 米 内 大 使



琉球政府松岡主席の訪米中止

5月25日より28日まで2回ワシントン滞在を原案として

向の訪米と行なう予定の 琉球政府松岡主席

はその後 政府言明を理由にこれを中止し、たい

ハワイを短期間訪向すことと右の趣旨を、右

に7月12日閣議で決定された旨は 館長に対し 同主席の  
もとより事後同様の

訪米は 報的旅行に 米政府の招待が加わらぬ  
(本報は米政府の招待が加わらぬ理由)

ではなく、ワシントンでの日程も一連の儀礼訪問のみ  
米側は 今秋の沖縄返還の交渉

とありたいと見られ、政治的効果は何ら予期し

|         |       |
|---------|-------|
| 要 理 要 種 |       |
| 要 研 究   | 至 急   |
| 栗       | 河 内   |
| 皮       | 藤 吉 山 |
| 有       | 馬 山 山 |
| 渡       | 辺 平 山 |
| 大       | 崎 吉 津 |
| 中       | 山     |
| 後       | 藤     |



い右の次が、従って今回の中止も得に  
深い理由もなにも思ふ旨は、既に述べた通り  
考へた。

極秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号 (D-A) 1577/1

|       |
|-------|
| 大政務外官 |
| 務務房   |
| 次官    |
| 審長    |
| 人電管計  |
| 儀文会厚  |
| 国参    |
| 長調    |
| ア北東   |
| 長総中西  |
| 北     |
| 長北    |
| 中参南旅  |
| 移住    |
| 長参英   |
| 欧西東   |
| 長近    |
| 近ア    |
| 経     |
| 参商    |
| 統ラ    |
| 長一過ス  |
| 経参経   |
| 協政技   |
| 長国    |
| 参協    |
| 長条規   |
| 国参経科軍 |
| 長政社専  |
| 情参内   |
| 長道外   |
| 文文    |
| 長一    |

67年4月28日21時00分 発米北  
 67年4月29日11時分 着米北  
 外務大臣殿 武内(大使) 総領事 臨時代理

オキナワ問題に関する米議会筋の見方(マサオカ内話)

第1147号 暗

マイクマサオカはマツオカリゆうきゆう政府参席訪米に關連しオキナワ問題について上下両院軍事委数名の感想を別個に聞いた結果なりとして28日チパに語ったところ次の通りの趣。若干ひ感的に過ぎると思われるも何れ御参考まで。

1. 各議員は口をそろえて自分らは同首席に対し海外の貴賓としてのれいをつくして応待し。オキナワ問題についての本当の考えをろこつに話した者はかい無であつたが。同主席がこれにより議会の支持を得たと誤解したおそれなしとせず。と述べていた。中でもジャンクソン上院議員(民主。ワシントン州)は。同主席との接しよぐの結果考えを変えた議員は一人もいなかつたろう。特にプライス法改正案については依然としてしゆうへん的(PERI PHERRAL)問題視しており。大統領ないし国防長官が強く工作しない限り上院議員は本気になら抗いのではないかと語っていたが。プライス下院議員もこのことを残念ながら事実であると認めていた。イノウエ上院議員と話してみた自

外務省

極秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

分(マサオカ)の感では上院でフオング議員がイノウエ議員の出ばなをくじき法案提出の主導権をにぎつたことはフオ議員が共和党であることと相まつて逆効果となる危険があると思う。

2. これら軍事委員はさすがにオキナワについての問題点は良く知っており。ある意味では両院の外務委員をしのいでいるが。一般にオキナワが日米間の最大の問題となりつつあるとのライシャワー流の議論にはかい疑的であり。マツオカ主席以外の日。りゆう訪米者から何度も同じことを聞かされるとつれて却つて何か日本政府の意識的宣伝を聞

かされているような反感を覚えつつあるようである。(イノウエ議員はこの意味でマツオカ主席の直後にオオハマ氏が訪問するが。必ずしも良いタイミングではないかも知れず。と心配していた)ドミニック上院議員(共和。コロラド)はどうも米日同政府とも何かさつ覚を起しているのではないか。米政府側は兩國の友好関係を依持し日米国内の反米気運を防ぐため議会はオキナワ援助資金を増額すべきであると言ひ。日本側は放つておくと日米関係に悪いから。米國はオキナワを返すべきであると言つているが。どうも議会の説得するには程とおいと述べていた。これは単純に過ぎる議論だが議員の考え方の一はんを示していると思う。

3. いずれにせよベトナム戦争が行われている現在軍事委

外務省

注意

市信写

総番号 (E-A) 15941 主信

67年 4月 28日 21時 17分 猪 米社  
67年 4月 29日 11時 42分 フレッシュ 着

外務大臣 駐 武内 (大使) 総領事 臨時代理

(大) 政務次官 外務大臣 房長 審長

録入電管計

録文会厚

録文会厚 (録) 録文会厚

録文会厚

録文会厚

録文会厚

録文会厚

録文会厚

録文会厚

録文会厚

録文会厚

録文会厚

録文会厚

録文会厚

録文会厚

録文会厚

録文会厚

録文会厚

録文会厚

録文会厚

録文会厚

録文会厚

録文会厚

録文会厚

録文会厚

録文会厚

録文会厚

録文会厚

録文会厚

録文会厚

オキナワ問題に関する米議会傍の見方 (マリオカ内話)

第1ノリ等 暗

マインサマカ社マノオカリゆりまゆり政府主席訪米に關連しオキナワ問題について上下両院軍事委員会各の態度を別個に聞いた結果なりとして28日デバに語ったところ次の通りの趣。若干の趣的に過ぎると思われるも何れ御参考まで。

1。各議員は口をそろえて自分らは同首席に対し海外の貴賓としての礼を以てして応待し。オキナワ問題についての本当の考えをろくに語った者ははい無であつたが。同主席がこれにより議会の支持を得たと誤解したおそれなしとせず。と述べていた。中でもジャンクソン上院議員(民主。ワシントン州)は、同主席との接し多くの結果考えを窺えた議員は一人もいなかったらう。特にプライス法改正案については依然としてしつらへん前 (FBI、FBI、RAL) 問題視しており。大統領ないし国防長官が働く工作しない限り上院議員は本気にならぬのではないかと言つていたが。プライス下院議員もこのことを残念ながら事実であると認めていた。イノウエと院議員と話してみた自

注意

市信写

市信写

[Faint, mostly illegible text in the right-hand document]

極秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管委員その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

員でオキナワ基地を手放すこととはおろか、現在の米軍による自由使用条約を変更しようという事を考える者は先ずいないのではないかとの印象を受けた。事実各委員はベトナムと日本との問題にぼつ頭しており、この点は政府も同様（例えばフランス国防次官は先日自分に対し「オキナワ以外にいくらでもし事があるよ」とじよう談まじりに述べていた。）である。なお右に関連しジャクソン議員はブロンソン大統領が乗り出さない限り議会も政府もオキナワについて現状維持以外のことを考えるはずはないと言っていた。（3）

3